

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	キャリアデザイン3
科目基礎情報					
科目番号	0087		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電子機械工学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	適宜資料配付				
担当教員	山下 晃司				
到達目標					
1.自分の将来像を説明できる 2.技術者倫理を説明できる 3.企業活動について説明できる					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	自分の将来像の詳細を説明できる		自分の将来像の概略を説明できる		自分の将来像を説明できない
評価項目2	技術者倫理について正しく説明できる		技術者倫理についてほぼ正しく説明できる		技術者倫理について説明できない
評価項目3	企業活動について正しく説明できる		企業活動についてほぼ正しく説明できる		企業活動について説明できない
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	自分の将来像, 技術者倫理, 企業活動の3項目について, 技術者としてキャリア形成するための基礎を学ぶ				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来像を考えレポートにまとめる 技術者倫理と企業活動のそれぞれについて, グループまたは個人枚にテーマを持ち, それについて調べたものを発表する 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> グループワークでは自分の役割を意識し, 積極的に参加すること 評価割合にある「発表」は, 自分の将来像に関するレポートの評価も含まれます 				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	キャリアデザイン3の学習内容と意義を説明できる	
		2週	自分の将来像 (1)	現在の自分の性格や能力を説明できる	
		3週	自分の将来像 (2)	将来のありたい姿を説明できる	
		4週	自分の将来像 (3)	将来のありたい姿に近づくために実行すべきことを説明できる	
		5週	自分の将来像 (4)	自分のキャリアプランをレポートにまとめることができる	
		6週	技術者倫理 (1)	技術者倫理に関して, 自分に与えられた事例の概要を説明できる	
		7週	技術者倫理 (2)	技術者倫理に関して, 自分に与えられた事例中の人物の, 行動の是非について説明できる	
		8週	技術者倫理 (3)	技術者倫理に関して, 自分に与えられた事例中の人物が, すべき行動を説明できる	
	2ndQ	9週	技術者倫理 (4)	技術者倫理に関して, 自分に与えられた事例を発表することができる	
		10週	技術者倫理 (5)	技術者倫理に関する事例の発表を聞き, その内容を説明できる	
		11週	企業活動 (1)	企業活動に関して, 自分に与えられたテーマの概要を説明できる	
		12週	企業活動 (2)	企業活動に関して, 自分に与えられたテーマが生まれた背景を説明できる	
		13週	企業活動 (3)	企業活動に関して, 自分に与えられたテーマに関連した事例を説明できる	
		14週	企業活動 (4)	企業活動に関して, 自分に与えられたテーマを発表することができる	
		15週	企業活動 (5)	企業活動に関する発表を聞き, その内容を説明できる	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理 (知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的な責任事項を説明できる。	2	
			現代社会の具体的な諸問題を題材に、自ら専門とする工学分野に関連させ、技術者倫理観に基づいて、取るべきふさわしい行動を説明できる。	2	
			技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を認識している。	2	
			社会における技術者の役割と責任を説明できる。	2	
			情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	2	

				高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。	2	
				国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	2	
				過疎化、少子化など地方が抱える問題について認識し、地域社会に貢献するために科学技術が果たせる役割について説明できる。	2	
				知的財産の社会的意義や重要性の観点から、知的財産に関する基本的な事項を説明できる。	2	
				知的財産の獲得などで必要な新規アイデアを生み出す技法などについて説明できる。	2	
				技術者の社会的責任、社会規範や法令を守ること、企業内の法令順守(コンプライアンス)の重要性について説明できる。	2	
				技術者を指す者として、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。	2	
				全ての人が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。	2	
				技術者を指す者として、平和の構築、異文化理解の推進、自然資源の維持、災害の防止などの課題に力を合わせて取り組んでいくことの重要性を認識している。	2	
				科学技術が社会に与えてきた影響をもとに、技術者の役割や責任を説明できる。	2	
				科学者や技術者が、様々な困難を克服しながら技術の発展に寄与した姿を通し、技術者の使命・重要性について説明できる。	2	
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。	3	
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。	3	
				企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	
				企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	
				企業には社会的責任があることを認識している。	3	
				企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。	3	
				調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	3	
				企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	3	
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	
				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でのように活用・応用されているかを認識できる。	3	
企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3					
コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3					

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	40	0	0	60	0	100
基礎的能力	0	15	0	0	0	0	15
専門的能力	0	15	0	0	0	0	15
分野横断的能力	0	10	0	0	60	0	70